

2011年7月25日

報道関係者各位

No.-59114

株式会社 東陽テクニカ  
東京都中央区八重洲1-1-6

## 東陽テクニカ、平成23年9月期第3四半期決算発表 売上高8%増、経常利益93%増

(株)東陽テクニカ（8151：東京都中央区 五味勝社長）は、本日（平成23年7月25日）午後2時、T D n e tにおいて平成23年9月期第3四半期の決算を発表しました。

### 概要

#### 売上高、前年同期比8.4%増、経常利益は93.2%増

当第3四半期（平成22年10月～平成23年6月）の売上高は142億2千3百万円（前年同期比+8.4%）、営業利益は18億1千6百万円（前年同期比+132.1%）、経常利益は20億4千8百万円（前年同期比+93.2%）、四半期純利益は12億3千7百万円（前年同期比△29.9%）でした。前年同期は米国子会社CLEAR SIGHT NETWORKS社の譲渡益が発生したため、四半期純利益は17億6千6百万円でした。

### 売上動向

#### 輸入主要部門は堅調に推移

輸入売上高は134億5千8百万円で、前年同期比11.1%の増収、輸出売上高は7億6千4百万円で、前年同期比15.9%の減収でした。

情報通信、振動解析、EMC、物性など主要な分野が堅調に推移し、前年同期比増となりました。その他の計測分野では海洋計測分野で新製品効果が表れ、前年同期比増となりました。一方、輸出は韓国向け輸出が減少しました。

なお、3月11日に発生した東日本大震災の影響は納入時期の延期という形で当第3四半期の売上に若干の影響を及ぼしました。

### 受注動向

#### 受注高、前年同期比微増

当第3四半期（平成22年10月～平成23年6月）は、143億1百万円で前年同期比1.5%の微増となり、6月末時点での受注残は前年同期比3億4千7百万円増加しました。

## 売上総利益率

当第3四半期（平成22年10月～平成23年6月）は前年同期比3.1%ポイント上昇しました。これは、利益率の高い振動解析分野の売上が伸びたことと為替が対ドル、対ユーロ共に円高となったことによるものです。なお、当第3四半期の平均為替レートは対ドルで83円（前年同期91円）、対ユーロで114円（前年同期128円）でした。

## 経費

経費は50.7億円で、前年同期に比して1.9%の減少となりました。米国子会社の譲渡による減少が主な理由です。

## 連結対象子会社

特に重要な子会社はありません。

## 通期予想

売上高 200億円、営業利益 21億円、経常利益 24億円、当期純利益 14億円

通期予想につきましては、先の東日本大震災や夏の節電等の影響が予想されますが、前回発表した予想を据え置きといたしました。

このプレスリリースに関するお問い合わせは下記まで

株式会社 東陽テクニカ 経営企画室 <sup>(トトキ)</sup> 十時

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 E-Mail:totoki@toyo.co.jp